

たむら

できることから



新支部長 管野 正秀

第31号
発行者
管野 正秀

幸運でした。八名の発表準備会委員を組織し、「支部活動の現状と活性化に向けた課題」について数回会議を重ね発表原稿を作成しました。多くの会員と現状を共有し、今後の会活動について意見交換できることは有意義でした。

今年度の会活動の重点は、第一に様々な機会を通して、会員の交流を活性化することです。各種行事や文書配付、会報、交流活動を行う中で、会員同士の顔が見えると嬉しいですね。

第二は、社会貢献活動・学校支援活動の摸索です。私は、この活動が退職校長会発足以来の存在意義であると考えています。現場では、いじめ・不登校、特別支援教育や新しい教育内容への対応など多忙を極めています。かつて校長職にあつた仲間が、お世話になつた地域や学校、子供たちの健やかな成長を後押しする活動を少しでも展開できればと思います。

会活動が義務的参加ではなく、会の意義を踏まえ、「～なら参加できる」「できることから参加できる」「～なら楽しく参加できる」「できることから参加する」との思いを共有すれば、どのようなものかが問われています。

活動年齢が高齢化するなど、今までと同じような会活動は困難となり、将来的に持続可能な会活動とはどのようなものかが問われています。

校長会会津大会における体験活動発表の機会を得たことはある意味

校長会会津大会における体験活動発表の機会を得たことはある意味



田村支部総会・懇親会開催

管野新支部長のもと、田村支部諸活動の充実と、会員相互の交流の更なる深まりを確認し合いました。

四月十二日（土）に、令和7年度福島県退職校長会田村支部総会・懇親会が迎賓館「辰巳屋」で開催されました。

ご来賓として田村地区小・中学校長連絡会会長菅野学様、副会長榎原康夫様のご臨席をいただきました。

根本支部長の挨拶では、これまでの各種支部事業への支援協力への感謝の言葉が述べられました。

今年度入会された四名の方の紹介があり、出席された佐久間敏晴様、鈴木敏夫様より挨拶をいただきました。



令和7・8年度支部役員

会務監事	管野正秀
会務監事	遠藤さとみ
会務監事	安瀬一正
会務監事	根内喜代重
会務監事	佐久間光春
会務監事	根本保男
会務監事	箭内良一
会務監事	高橋秀章

新入会員から

今年度四名の新入会員を迎えることが出来ました。四名の新入会員の皆様から、現状や現職時の思い出などを寄稿いただきました。

入会にあたつて

令和七年三月三十一日をもって役職定年となり、教職三十八年目を一区切りとし、退職校長会に入会させていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひいたします。





佐久間 敏晴

も温かい励ましの言葉を頂戴して
きました。本当に心強く、また明日
から頑張ろうという気持ちを持つ
ことができました。改めて感謝申
し上げます。ありがとうございます。
した。しかし、私はまだ現役ですの
で、これからも変わらずにご指導・
ご鞭撻を賜りますようお願い申し
上げます。

しなければなりませんでした。
しかし、このような状況の中でも、特に印象的だったのは、できな
いことをいつまでも嘆くのではなく、できることを喜び合う子どもたち
たちの姿でした。これも子どもたちから学んだ財産なのではないか
と思っています。

退職校長会の皆様、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

入会のごあいさつ

の講師として、翌年度に新採用教員として着任しました。当時は、県内外でも校内暴力が問題となつて、いた後でした。さらに、学習指導要領の改訂に伴つて家庭科が男女共修となり、所属校では男子生徒だけの家庭科の授業をすることになりました。

また、週六日制で授業以外の仕事も多くゆとりがない毎日が続き、先輩の先生方から様々なことを教わりながら必死になつていたことを今も記憶に残ります。

さて、私は昭和六十二年四月、棚倉町立高野小学校から教員生活をスタートさせました。先日、特別支援教育支援協議会に出席した際、そこで最初に担任した児童が指導主事として参加しており、グループ協議では高野小の校長先生と一緒に、さらには高野小学校が今年度をもつて閉校となることをお聞きし、嬉しさと懐かしさと寂しさが同時に湧き上がる不思議な縁を感じました。

校長としての勤務では、やはり

令和六年三月
末日、三春町立
御木沢小学校で
役職定年を機会
に退職し、今年



今井不二子

校長としての勤務では、やはり新型コロナウイルス感染症について語らざにはいられません。令和二年三月からの全国一斉の休校措置。さて、卒業式は、PTA総会は、児童の学びは……。

教育委員会の指導や地区的校長先生方からの助言をいただきながら、一つ一つ難しい判断を





田村支部に入会させていただきました。入会に際しましては、わざわざ学校まで足を運んでいただき温かいお言葉を頂戴します。どうぞよろしくお願ひいたします。

退職校長会の皆様には、今後ともご指導とご助言をいただきますとともに、これからは会員としてもお世話になります。



の講師として、翌年度に新採用教員として着任しました。当時は、県内外でも校内暴力が問題となつていた後でした。さらに、学習指導要領の改訂に伴つて家庭科が男女共修となり、所属校では男子生徒だけの家庭科の授業をすることに

ご挨拶と今の想い

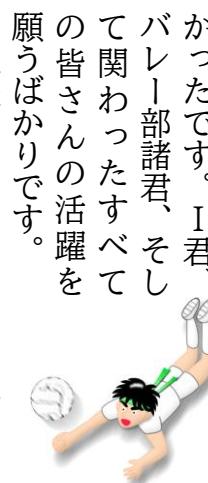
渡辺 和也



役職定年を機に退職し、入会させていただきます。田村支部の先輩方、どうぞよろしくお願ひいたします。船引小を最後に退職した父も、皆様との交流をとても樂しみにしておりました。大震災後に亡くなりました。私は最後五年間を三春町に勤め、母校三春中で役職定年を迎えたこと、皆様に心から感謝申し上げます。

現在、三春町教育委員会生涯学習課の会計年度職員として勤めております。行政職は八年間の経験あるのですが、社会教育分野は初めてで分からぬことばかりです。町教委には添田直彦教育長をはじめ、校長会の先輩方がいらっしゃいますので毎日いろいろと教わりながらなんとか勤めています。退職後も皆様にお世話になり感謝です。また、町役場には優秀な若手が多く、教員不足の現場ではうらやましいでしょ。学校を離れて改めて「教職は本

本当に素晴らしい！」と思いました。私が言うまでもなくブラックではありません。しかしながら、自分はよい指導ができず、関わった生徒諸君には本当に申し訳なく思いました。それなのに、退職前の校長室に「安積二中バレー部OB有志」様からお花が届き、涙が出ました。同じ頃、初任教で学級委員長だったI君から「南会津T中学校長の辞令いただきました。」との連絡、遠い所ですがうれしかったです。I君、バレーボー部諸君、そして関わったすべての皆さんのお躍を願うばかりです。



継続していきたいことは作品制作です。福大卒業時、彫刻の白澤先生から「美術教師は看板だけではだめだよ。」と言われ、細々と制作を続けてきました。先日、美術の指導主事として尊敬している遠藤和雄先生の個展で素晴らしい水彩画を見せていただき、少しでも近づこうと思いました。

会員の皆様を見習い、一日一日を大切に勤めていきたいです。ご指導よろしくお願ひ申し上げます。

※いわき「そらカフェ」、会津若松駅前「Sugar」に小品を展示してもらっています。

会員として、校長として

鈴木 敏夫



法改正により、私の定年は六十二歳となります。若い頃は、還暦過ぎれば退職すると思い込んでいましたので、この改正は意外でした。しかし、周囲を見れば六十歳過ぎで働いている方も多いので、自分も働けるうちは働く考え方方が変わってきました。これと言つて特別な趣味もなく、優先してやりたいことがあるわけでもありません。強いて言えば、平日には旅行でもとうつすらと思つていたくらいです。見方を変えれば、この法改正は私には都合がよかつたのかもしれません。

そこで、悩んだのが、定年までの二年間に何をするかでした。通級指導担当をまた、挑戦してみたいと思いましたが、これまで携わってきた管理職にも魅力を感じました。校長職としては、芦沢小学校で一年間、統合先の船引南小学校で、別の学校の経営にも当たりたいと思うようになりました。

六十

歳で一旦は役職定年となります。校長職の特例任用という採用枠にしてお世話をなっています。お世話をになります。お世話をになります。お世話をなります。



米寿おめでとうございます

吉田勝人先生が米寿をお迎えになりました。



五月三十一日、管野支部長と県内副支部長がご自宅を訪問し、県及び田村支部よりのお祝いをお渡しました。

米寿をお迎えになり益々お元気な様子でした。田村地区小・中学校長連絡会長としてなど現職時代にご活躍されたことや、今も教え子達と強い絆で結ばれ交流されていました。

これからも健康にご留意され、ご健勝にてお過ごし下さいますよう心より御祈念申し上げます。

今後とも支部後輩の我々をご指導いただきたいと思います。

米寿おめでとうございます。

夢は四〇番台、全日本テニス選手権予選出場です。福田氏のことばは続きます、「この一球一打に技を磨き体力を鍛え精神力を養うべきなりこの一打にいまの自己

庭球部に所属し、テニスコートで汗を流す青春を送りました。退職してこの方、また、テニスする情熱に火が付き、昨年二月から日本テニス協会ベテランシングルス七〇歳の部(七〇～七四)に登録し、これまで仙台、東京、千葉、甲府、浅間などでの大会に出席しました。昨年の最高ランキングは一一七番、この五月関東オープンと毎日テニス選手権でやつと二回戦敗退、まだ三回戦へ進むことができません。他は初戦敗退ばかりで現在ランキングは一九五番、試合で出てしまった課題は試合でしか解決できない、というのが実感です。

学生時代に趣味でかじつていた写真を先輩の誘いで定年退職後に再スタート。

輝きびと

会員の近況

庭球する心

佐久間 光春

「この一球は唯一無二の一球なりされば身心を挙げて一打すべし！」全日本庭球選手権第一回優勝の福田雅之介氏のことばです。

私は原町高校、福島大学と硬式

御代田裕紀先生が、昨年度開催された、第十三回福島の桜フォトコンテストにおいて「福島民友新聞社長賞」を受賞された作品です。

『夕陽のなかで』

御代田 裕紀



を発揮すべし これを庭球する心という。」

六月十六日は、神奈川ダンロップ初戦、小田原のコートです。

少人数の写真俱楽部に入つて月程度の撮影会がその活動内容で一度度出品しても選に漏れ、なかなか思うような写真が撮れずにいましたが、夕日に映えた桜と空の綺麗な情景に運良く遭遇してシャッターを切つたのがこの三春町中妻地区の和尚壇の桜です。退職後も趣味やボランティア等、暇なしで過ごしています。

御代田 裕紀

御代田 裕紀

令和七・八年度専門部組織

◎研修 部長 谷川 健二
副部長 佐藤 道拓
副部長 遠藤 俊一

◎広報 部長 御代田 進一
副部長 吉田 勇
副部長 大河原 久宗

◎調査 部長 副部長 佐藤 和典
副部長 橋本 幸夫
副部長 堂山 昭夫

◎調査 部長 副部長 佐藤 幸夫
副部長 橋本 和典
副部長 堂山 昭夫

編集後記 退職者の楽しみの一つに、TVを観る事があるのではないでしようか。NHK朝ドラあんばん、相撲中継、そして大谷選手のMLB、等。会報「たまら」もその一つに加えていただければ幸いです。

退職校長会の課題解決のためにも、会員の皆様の元気な様子を出来るだけ発信していきたいと思います。後日原稿を依頼させていただきますのでよろしくお願いします。(M)